

インターンの 研究発表会開く

ツクバリカセイキ

【水戸】ツクバリカセイキ（茨城県つくば市、中山俊明社長、029・864・8230）は29日、受け入れたインター

ンシップ（就業体験）生の研究発表会を同社で開いた。同社が開発した小型・低価格で、高速計測が可能な多点圧力変換器の圧力の再現性と応答性の検証がテーマ。筑波大生2人、茨城大生1人、埼玉大生1人が2週間、

検証を重ねた結果を他企業の社長やつくば市の担当者らが見守るなか発表した（写真）。

参加者の一人、筑波大



学の3年生の鈴木大さんは「学生実験とは違い、得られた結果がどういう意味を持つのかを考える必要がある、学ぶべきところが多かった」と満足げだった。

中山社長は「苦しいけど最後まで研究して達成する喜びを感じとってほしい」と話していた。同社は07年から継続して就業体験者を受け入れている。